

投資事業評価調書 (新規)

課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 西川 昌一 (林 任輝)	内線	4459 (4465)
-----	-----	---------------------	----------------------	----	----------------

事業 種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	億円
		通常砂防事業 にしやま 西山川	揖保郡新宮町 みやうち 宮内		(内用地補償費)
所在地				着工予定年度	完成予定年度
揖保郡 新宮町 宮内				H14年度	H16年度

事業目的	事業内容
土石流災害対策 ・土石流危険渓流であり、土砂災害の危険性が高い ため堰堤工を設置することにより、地域住民の人命 ・財産を始め、地域の文化活動拠点である県立文 化会館施設を保全する。	・砂防堰堤工 1基 (H= 9.0m , L= 75m)

評価視点	
(1)必要性 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・西山川は土石流危険渓流である。 ・流域状況は急峻で渓流の荒廃も著しいが、砂防設備は未整備である。 ・保全対象 : 人家 = 5戸、公共施設 = 町道、県立西播磨文化会館 西播磨生活科学センター その他 = 宮内古墳群 (県指定史跡)
地域の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・砂防堰堤工事により土砂災害の危険性が軽減され、下流域の文化会館施設の有効な土地利用が図れるようになる。
快適性・ゆとり	<ul style="list-style-type: none"> ・堰堤工設置により土石流を止め、下流域への土砂氾濫を防止することにより安全で快適な生活空間及び文化活動空間を提供する。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地元からの事業化への要望が強い。
(2)有効性・効率性 有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・人命, 財産 (人家 5戸) 及び県立西播磨文化会館と生活科学センターが保全されるので、事業実施による投資効果は大きい。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・地元からの要望が強く、町等の協力体制が有るので円滑な事業執行が可能である。
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・土石流の想定被害区域には保全人家 5戸の他、県立西播磨文化会館などの公共施設及び県指定の宮内古墳群 (史跡) がある。 ・流域内の渓流荒廃が進み、荒廃度は 10% を越えている。また、渓床勾配も急峻であることから土砂災害の危険性が高い。 ・このため宮内地区の人命・財産の保全のために早急な対策が必要である。

評価 の 結 果	着手妥当	左 の 理 由	上記内容により着手が妥当と認められた。
-------------------	------	------------------	---------------------